

# 産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和3年11月10日(水曜日)

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時52分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 令和4年水戸市消防出初式について

(消防総務課)

(2) その他

2 出席委員(7名)

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	小泉康二君	委員	渡辺政明君
委員	内藤丈男君	委員	五十嵐博君
委員	安藏栄君		

3 欠席委員(なし)

4 委員外議員出席者(1名)

議員 田中真己君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長 田尻充君

産業経済部長 鈴木吉昭君 産業経済部参事 川崎幹男君

産業経済部参事兼商工課長 長谷川昌人君 産業経済部技監兼農政課長 深澤和広君

観光課長 小林一仁君 農業環境整備課長 三村隆君

農産振興課長 後藤俊之君 公共地方卸売市場長 宮田正一君

消防局長 小泉直紀君 消防次長 大内康弘君

消防局参事 箕輪重美君 消防局参事兼火災予防課長 石田宏一君

北消防署長 青木剛君 南消防署長 勝村俊則君

消防総務課長 猿田純夫君 消防救助課長 大信成人君

救急課長 栗原政人君

農業委員会  
事務局 横山英雄君

農業委員会  
事務局次長 吉川正浩君

6 事務局職員出席者

書記 大内しおり君

書記 島田祐輔君

午前10時 0分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、報告事項の説明を行います。

令和4年水戸市消防出初式について、執行部より説明願います。

猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 それでは、令和4年水戸市消防出初式について、消防総務課提出の資料に基づきまして御説明いたします。

1の目的でございますが、消防職・団員などの消防関係者が一堂に会し、職務遂行に必要な諸般の状況を検査し、規律保持とあわせて関連団体との連携強化を図るとともに、市民参加のイベントによる防災意識の高揚を確立することを目的として実施いたします新春恒例の行事でございます。

2の主催につきましては、水戸市、水戸市消防局、水戸市消防団となっております。

3の日時及び4の場所でございますが、令和4年1月9日曜日9時から、例年どおり、水戸市千波町の千波公園西駐車場にて開催いたします。

なお、荒天時の予備日につきましては、1月10日月曜日としてございます。

5の式次第につきましては、記載のとおりとなっております。

なお、(1)の開式から(8)の来賓紹介・祝電披露までを式典としてございます。9時から45分程度で式典を実施する予定でございます。

また、(11)の主なイベントのはしご乗り演技や消防団員一斉放水、はしご車の搭乗体験など、例年どおり実施する予定でございます。

6の広報につきましては、広報みと、市ホームページ、市フェイスブックなどを活用して市民への周知を図ってまいります。

ページを返していただきまして、7の感染防止対策でございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、茨城県のガイドラインに基づき、各種感染防止対策を講じて開催いたします。

関係者及び来場者へのマスク着用の徹底、新型コロナウイルス接触確認アプリ「いばらきアマビエちゃん」の登録協力をお願い、受付時の検温の実施についての御協力、会場内の各所にアルコール消毒剤を設置し、そちらを活用しての手指消毒の実施、式典におきましては、ソーシャルディスタンスを確保した座席の配置など、具体的な対応をしてまいります。

その他といたしまして、来賓用駐車場につきましては、3ページの会場案内図を御参照いただきまして、右下のD51南側駐車場を来賓用駐車場として指定させていただきます。

最後に、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、参加人員を縮小して開催するなど、変更が生じる場合がございますので、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

資料の説明につきましては、以上でございます。

○飯田委員長 内容等について、何か御質問等ございましたら発言を願います。

小泉委員。

○小泉委員 数点、質問させていただきたいと思います。

毎年恒例ですけれども、コロナによって今年はできなかつたんですよね。そのような中で、今回は今の状況のまま推移しますと、もう通常どおりの開催ということでよろしいでしょうか。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

現時点では例年どおりの開催を予定してございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 昨年もそうですけれども、今年に入ってから、私もLINEで登録させていただいておりますけれども、消防団はほぼ活動できていないという状況だと思います。そのような中で、新しく入られた団員の方もいらっしゃるれば、団としての活動自体もあまり行えていないというのが実際のところだと思います。式典等の準備や確認も含めてですけれども、やるからにはきちんとした出初め式を行うということで、消防にとってこの出初め式というのは非常に意義深いものであると思いますので、そこに向けた準備は、引き続きしっかりと行って臨んでいただきたいという要望でございます。

そのほかで、この会場の設営に関しましては、千波公園西駐車場のところとありますけれども、おおよそはもう一昨年前と同じ感じですかね。来賓が南側になってとか、隊の行進が入ってきてとか、そういった一連の流れはおおよそ従来どおりなんでしょうか。

○飯田委員長 猿田消防総務課長。

○猿田消防総務課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

出初式会場、それと市民防災広場がそれぞれ記載箇所になっておりまして、式典の会場につきましては、例年どおり、南側が来賓席となっていて正面とする予定でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 1年空いて、今までがそうだったから、じゃ、それが現況を見てベストかっていうと、本当は一考の余地があったりもするんじゃないかと思います。出初め式を行う時間帯が午前中早くからでございしますので、例えば日の当たり方の話だとか、あとは隊を滞留させるにしても、このコロナ禍でありますので、どうしても西側のほうに延びて待機という形にはなるんだと思うんですけれども、様々な面でもう一度、御一考いただいて、この敷地の中で、この人数の隊で行うとなったときには、それが今考えられるベストなのかということも、もう一度、御検討をいただければというふうに思っております。

そして、もう一つ、広報に関しましては、6のほうで「広報みと」ですとか、市ホームページ、フェイスブックを活用ということでもありますので、こういったことをやっているというのを市民の皆さんに御理解いただくということも非常に重要だと思いますので、ぜひ積極的にやっていただきたいというふうに思っております。

また、今ですと、ユーチューブとかで、その隊の行進をリアルタイムで放送するとか、それを録画しておいて後ほどアップするとか、というようなことも、そんなに難しくなくできることだと思います。そういった意味では様々な面で検討して、より発信をしていただいて、ひいては消防行政に関する、また消防団活動

に関する市民の御理解を深めていただきたいというふうに思っておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

そして、最後なんですけど、コロナ対策でありましたけれども、7の(5)になるんですけども、もちろん今までコロナ対策として言われていた部分があると思うんですけど、最近、医学的な見地からいろいろアップデートされてきているんですよ。例えば、ソーシャルディスタンスじゃなくて、今世界中でフィジカルディスタンスという言い方になってきたりとか、そういった面もあると思ひます。保健所を有する水戸市でございますので、最新の情報を基に対策を講じていただければというふうに思ひますので、そちらは意見でございます。

最後に、ちょっと関連していないかもしれないんですけど、年末年始の特別警戒は今年は従来どおりやるんですよ。

○飯田委員長 大信消防救助課長。

○大信消防救助課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

例年、年末年始特別警戒というところで、期間が12月26日から1月9日まで、内訳に関しては、団員さんの皆様には12月26日から12月29日、1月4日から1月9日の約10日間、団員さんのほうにお願いをするというところでございます。先月、団のほうで幹部会議が実施されて、今回のやり方、方法、そういったものについて、団員さんのほうに少しでも御負担をかけないようにというふうなお話も出まして、その中で時間等を決め、また実施方法も決めまして、12月にもう一度、団の幹部会議がございましてけれども、そこで最後しっかり決めていくということです。今、小泉委員がおっしゃられた実施する期間については、昨年同様でございます。

以上でございます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 最後になるんですけども、夜間特別警戒のときによくある話で、私も本会議で何度かお話しさせていただいておりますけれども、先ほどの広報での市民理解というところにもつながるんですけど、やっぱり警鐘を鳴らして走ることに対して、市民の方から苦情をいただくこともあるというところでございます。確かに音がうるさいと思われる方もいらっしゃるんだと思うんですけども、騒音目的でやっているわけではなくて、やはり年末年始の乾燥する時期に火の用心という目的でございまして、一連の消防への御理解が深まることによって、そういったケースも少なくなってくるのかなというふうに思ひます。一般の方々にも消防がどういう活動をしている、どういう目的で動いているということがより伝わっていくように、また、消防団の皆さん、ボランティアといいますか、大分、貢献の意味でやっていただいている方も多いためと思ひますので、そういった方々の士気が落ちることがないようにやっていただきたいというふうに思ひます。これは要望とさせていただきます。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 コロナで1年休んだけれども、令和4年消防出初式を開催するというところで、本当に御苦労さ

まです。また、常日頃、水戸市の防災、また災害等への準備、また対応に御尽力いただいていることにも敬意を表したいと思います。

この消防出初式は消防局のほうと消防団が連携して開催するわけでございますけれども、やはり大事なことは、この消防団だと思うんですね。この消防団が設立されて各分団ごとに地域に配置されている中で、やはり今、分団のほうでも高齢化とか、また新規の団員が入らないというようなことで非常に困っているという話も伝え聞いております。そういう中で、やはり防災の崇高な理念に基づいて御協力いただいているということで、私は大変感謝しております。市議会議員さんなんかでも分団に入っている方がいらっしゃると思うんです。うちの会派の後藤副委員長も消防団に入っているということなんで、改めて誰が何分団に入っているのか、それちょっと聞かせてくれますか。

○飯田委員長 大信消防救助課長。

○大信消防救助課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

今、第1分団には綿引議員さんが入っております。あとは今日御出席の小泉議員は第12分団、あとは須田議員が第8分団、大津議員が第18分団に入っている状況でございます。最後に、後藤議員が女性分団員というところで、現在、加入している状況です。

〔「佐藤君が2分団に入っているだろう」と呼ぶ者あり〕

○大信消防救助課長 失礼いたしました。佐藤議員が第2分団に入っております。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 市議会議員さんは地域に密着した活動をしているということで、分団員となって、防災、災害等に対応していただくということは、大変有意義なことであって、大事なことなのかなと思っています。市議会議員でも6人入っていらっしゃるということなんで、ぜひ、ほかの分団員の方と共にしっかりお務めいただきたいというふうに思っております。

なぜ、私がこういうことを言うかという、私は第2分団の後援会の会長を務めているんですよ。分団の経営というか、管理運営というのは非常に厳しいところがあるというふうに聞いております。地区ごと、分団ごとによって様々だと思うんですけども、我々、第2分団後援会としては、皆さん方にしっかりお務めいただくということで、地域の各世帯からいろいろ賛助金を頂いて、それを分団さんにお渡ししているというふうなこともあります。五十嵐委員さんも同じ地区内で町内会としてお金を頂いているということで、これがやっぱり大事なんです。ただ単にきれいごとで、お願いしますと言うだけじゃなくて、我々、地域も、皆さん方をサポートしていますよという一つのあかし、そういうことで毎年後援会の総会を開いて、今、地区内の火事の数とか、その原因とか、そういうものの御説明をいただいたり、御報告いただいたりしているということなんです。例えば分団員さんが金集めに行くなんていうんじゃ、1軒1軒回ってもなかなか頂けない気がしますし、いわゆる潤滑油としての支援というのが、私は大変大事なのかなというふうに思っておりますので、ぜひ、担当課のほうでも今後、そういう部分で御苦労があるようでしたら、いい方法論とかも御指導していただくといいのかなというふうに思っております。

後援会長としての意見なんで、分団ごとに様々な制約とかがあるかと思っておりますけれども、一応、参考にお話をさせていただきました。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら発言をお願いします。

内藤委員。

○内藤委員 今年の菊花展についてちょっと聞きたいんですけども、今年は旧県庁から小吹のほうへ会場が移りましたよね。その結果、どのくらいの出展して、そしてどのくらいの人が来てくれたのか、ちょっとお聞きしたい。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの内藤委員からの水戸の菊花展に関する御質問について、お答えをいたします。

前回の委員会でも御報告申し上げました菊花展、植物公園の駐車場をお借りして、現在、開催をしております。11月15日までの会期予定で行っております。

現在、集客のほうは、まだ集計の途中でありますので正確な数字というものが申し上げられないんですが、先週の6日、7日とワークショップを実施しましたところ、大変好評でございまして、多くの方に参加をいただきました。啓明高校の生徒さんもその運営に携わっていただきまして、100組用意したんですが、それを上回るお客様に来ていただきまして、130組程度の集客がございました。その他、菊花展自体のお客様としましても大変好調でありまして、多くの方にお越しいただいております。

出展に関しましては、約300点、菊のほうが展示されているというところで、まだ正確には分からないんですが、会員さんのほうも増える見込みがあると。現場で、ぜひ会員になりたいということでお声がけをいただきまして、会長さんともども、スタッフ等、その場で協議といいますか、相談のほうをさせていただいている状況で、非常に反応は好調だということでございます。

○飯田委員長 内藤委員。

○内藤委員 どうもありがとうございます。

なぜ聞いたかという、今までは旧県庁、その前は末広町、いろいろ変わってきたわけですけども、この前、出展している堀町の人に行き会ったんですけども、今回、小吹に移って植物公園の駐車場でやっているんで、そこで見られるわけでしょう。そういうことで、植物公園に来ている方も、菊花展を見に来る方も、本当に今までと違って楽であるとか、それからその場で見られるということで喜んでいました。そして、前にも聞いたかもしれないけれども、出展する方も堀町では1人増えたということで本当によかったなと思うんですけども、今後どうしていくかということは、まだ今のところは未定なんだね。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの内藤委員の御質問にお答えいたします。

今回の会場に関しましては、基本的には植物公園のほうで継続というお話はありますが、いずれにいたしましても、会の皆様としっかり協議をしながら決めていきたいと考えております。

○飯田委員長 内藤委員。

○内藤委員 その菊花展を見に来て、植物公園の中に入るといの方もいますか。ちょっとお聞きしたい。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 御質問にお答えをいたします。

菊花展にお見えになった方が、植物公園にお入りになられるケースももちろんございますし、同時開催しておりますので、植物公園にお見えになった方が、菊花展のほうにお寄りいただくという、相乗効果も図られているものと考えております。

○飯田委員長 内藤委員。

○内藤委員 そうすると、今までの旧県庁でやっていたときよりも、末広町でやったときよりも、何か効果があるんじゃないかなと私も思います。そういうことも含めて、これからも同じところでやるなり、人がたくさん集まるように努めていただきたいと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございますか。

安藏委員。

○安藏委員 二、三質問をさせていただきます。

私もこの菊花展は、この間、ちょっと行ってきたんですけども、受け付けている2の方が物すごく親切な説明をされていて、私も説明を受けて、もういいですというほど説明を受けたんですけども、本当に大変対応がいいのかなと思っていました。それで、3時の頃行ったんですけども、私何番目ですかと言ったら、70番目、80番目くらいなんて言っていたんですけども、それはそれとして、場所が変わっていろいろやり方も変わると思うんですけども、ぜひ、後継者をつくられながら継続されるようお願いしたいと思います。

それで、こここのところずっとコロナ禍でいろんな行事ができなかったんですけども、商工課のほう、あるいは、14日、20日と続いているいろんなイベントができるようになって、本当にいいなと思っているんですけども、ちょっと心配なのが、商工祭なんです。農業祭があつて、産業祭という歴史がずっと水戸市では続いていたと思うんですけども、去年もあのコロナ禍の中で商工マルシェのほうは、リリーアリーナですかね。私も参加したんですけども、今回、なぜこの産業祭の位置づけじゃなくて、商工祭実行委員会という形になってしまったのか、その辺のところをちょっと商工課長と農業関係の方に、その経過をお伺いしたいと思います。

○飯田委員長 長谷川産業経済部参事兼商工課長。

○長谷川産業経済部参事兼商工課長 ただいまの安藏委員からの産業祭としての開催はどうかというような御質問でございますけれども、産業祭は、商工祭と農業祭というものを2つあわせて、産業祭としてこれまで開催してきたという経緯でございます。

今回も商工祭、農業祭のそれぞれの実行委員会において協議をした結果、商工祭については、昨年同様、商工マルシェという形で11月20日に開催をするという決定に至ったというところでございます。農業祭につきましては、コロナウイルス感染症の影響等もありまして、JA水戸さんからの意見等も踏まえて農業祭実行委員会において総合的に判断して、開催しないという決定をしたというふうに伺っております。

○飯田委員長 深澤産業経済部技監兼農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 農業祭につきましては、今、説明のあったとおり、実行委員会を持っておりまして、そこで開催の可否を決定しております。農業祭の実行委員会は、主にJA水戸が中心となって、直売がなければ農業祭としての魅力はかなり落ちるというような中で、JA水戸はこの検討を行った段階で、まだ自分のところの市内の直売所のイベントも控えているというような状況でございました。行政のほうも、いろいろなイベントにJA水戸さんの協力がいただけないかということで、そういう機会があるごとに打診をしていたんですけども、同様の理由でずっと断られている状況でございました。そのような中で検討であったために、この実行委員会の中でも、JA水戸さんの意向が、その時点では変更がなかったということで、開催は見送るという決定をした次第でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 それぞれお聞きしましたけれども、俺、てっきり産業祭の実行委員会というのは一緒にやっていると聞いていたんですよ、ずっと。たまたま商工祭のほうで、去年でもやってもらって、あれだけお客さんが来て、それで買って行くのは、みんな、ネギとかゴボウとか、それを持って帰る人が多いんですよね。だから、やはり商工祭、農業祭の位置づけじゃなくて、水戸の産業祭としての位置づけは本当に大事と思うんです。その辺のところの調整をさせていただいて、せつかく収穫の時期、あるいは商工祭の時期なんでその辺の統一はぜひ。これ、今までやっていたんだよね。去年から変わったのかな。産業祭が商工祭に変わったのか、俺、ちょっと分かんない。ちょっとその辺を教えてください。ちょっと部内でぜひ調整してくれるようなことは、どうなのか。多くの市民の方、待っていると思いますよ。ぜひ、部長、ちょっと御回答いただきたいと思います。

○飯田委員長 鈴木産業経済部長。

○鈴木産業経済部長 ただいま産業祭に関しての御質問でございますけれども、もともとは商工祭と農業祭と別々に開催していたものを、より一層の魅力向上のために産業祭という形で開催、一つの形にまとめたという経緯がございます。その名残として、それぞれ農業祭、商工祭、それぞれの実行委員会があって、それをまとめる産業祭の実行委員会もあるという、二重の構造になっているというのが現状でございます。

その中で、昨年度と同様、商工マルシェという形で今回開催する予定でございますけれども、これに関しましては、我々としてもやはり水戸市の魅力を伝えるためには、産業祭という形で開催したいという思いもありまして、JAさんですとか、関係機関とも調整をしたところでございますけれども、残念ながらやはりJAさんのほうでは、高齢者も多いという中でなかなか踏ん切りがつかないということで、それ以上、我々も強行的に開催へ持っていくということがちょっとできなかったというところでございます。

ただ、今後におきましては、当然、我々としては産業祭という形で開催したいという強い思いを持っておりますので、今回は難しいですけれども、何とか、来年度に向けては産業祭という形で開催できるように努力してまいります。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 ありがとうございます。

まちなかもあれだけにぎやかなイベントがあったが、それも駄目だ、あれも駄目、これも駄目ということ

で、やはり産業経済部として、アフターコロナの対策の部分で、どの時点でそういうイベント、にぎわいを取り戻すような時期を決めていくのか。本当に、今、その境目だと思っているんですよ。だから、ぜひ、商工観光、農業関係、いろいろ協議を重ねていただきまして、やはり秋は、市民の皆さん、本当に待ち望んでいる時期だと思うんで、コロナに負けずにここまで来たんで、いろんな時期の決定については、慎重に、そして大胆にできればいいのかなと思っています。

それで、商工マルシェは20日ですよ。今日は10日か。だから先ほど言われたみたいに、この前のマルシェにも鉾田の方とか、日本農業実践学園、鯉淵学園、農産物直売もやっていたんですよ。あれ、鉾田じゃなかったかな、来たの。そういうことができたとすれば、あと10日あるんで、水戸に今、直売所が幾つあるか知らないけれども、その中の何か所でもやはり商工と農業が一緒になって、せっかくのお祭りなんで、そういう部分も、今からでもこの時期なら調整できるような気がするんだけど。毎日、直売所、やっているわけですからね。そこの農産物を持って行って、水戸の農産物を食べてもらって。あと今年の米の状況を見た場合に、米も大きな目玉として、商工マルシェと一緒に米の販路拡大、それもあと10日あれば十分できると思うんですけど、ちょっと無理な要求かもしれませんが検討してみてください。せっかくのお祭りですからやっぱり、ゴボウとか大根とか白菜とか、いろんな農産物があって初めてお祭りって私は昔から思っているものですから、ぜひその辺について、あと10日ありますからちょっと検討してみてください。

深澤課長、何か答弁ありますか。

○飯田委員長 深澤農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 秋の時期ということで収穫の時期を迎えております。それで、市民の皆様も、市内の様々な旬の農産物への期待が大きいということも認識をしているところでございます。商工マルシェへの農業部門の出展につきましては、商工祭の中で様々なテントのレイアウトですとか、そういうのを検討して、ちょっと私も今どこまで検討が進んでいるかを把握していないので、この場ではお答えできない部分がございますけれども、何とか市内の農産物の魅力が少しでも市民の方に伝わるように検討をさせていただきます、また、今回の機会を逃した場合には、次の機会に改めまして、どのような魅力のPRができるかというのを検討してまいりたいというふうに考えております。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 ありがとうございます。

今の話とは関係ないんですけども、もう一点だけちょっと聞かせてもらいたいのが、今、農家経営の中で油、要するに燃料がかなり高騰していて大変だという現状は皆さん御承知だと思うんですけども、その中で軽油の減免措置という制度があって、その制度がどのくらい市内の農家の方に行き渡っているのか。ちょっと私、把握していないんですけども、軽油の減免措置についての現状、分かりますか。分かんないかな。分からなかったら後でもいいんですけども。後で教えてください。それをやはり限定的じゃなくて、農業経営の中の大事な燃料代の部分の減免措置なんで、有効に使えるような措置をぜひ考えて。もう現状ある制度ですからね。

あと、もう一点は、A重油に関してはどういうふうな制度があるんだか、ちょっとそれも調べて後で教え

てください。

以上です。

○飯田委員長 深澤農政課長。

○深澤産業経済部技監兼農政課長 軽油の減免につきましては、農業者の方からの減免申請に基づいて、農政課のほうで証明書のようなものを発行して、それに基づいて農業者の方が県のほうに、たしか直接申請するような形だったと思います。ちょっとその実態については、今、細かい数字を持っておりませんので、後でお答えしたいと思います。A重油についても同様でございます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

小泉委員。

○小泉委員 1件お伺いしたいんですが、観光課の話で、いつだったか、日にちは忘れたんですけども、偕楽園の、鬼滅の刃で有名なアニメプレックスと連携して花火のイベントがあったと思うんです。そちらの内容が非常に好評だったというふうには聞いているんですけども、実際どのような集客で、またどのような広がりを見せて、またそれに対して市として、費用は幾らでの花火の提供になったのか、ちょっとそういった詳細だけ、御報告も含めてお伺いしたいと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの小泉議員からのアニメと水戸のコラボに関する御質問について、お答えをいたします。

御発言がありましたように、社会現象にもなっております鬼滅の刃を制作している会社のほうからお誘いがございます、同じ制作会社の劇場版アニメの映画が10月30日に公開されるということで、これにあわせてコラボイベントを実施したものでございます。

内容といたしましては、御発言がありましたように、花火の打ち上げをはじめ、コラボカフェといたしまして、市内の3店舗の飲食店の方に御協力をいただきまして、限定メニューを頼んでいただくとオリジナルグッズのほうもらえる取組ですとか、あとはコラボホテルといたしまして、宿泊客の皆様に特別な部屋を御用意するという限定の取組を行ってきたところでございます。

皮切りの花火大会につきましては、10月29日金曜日に四季の原で実施をしましたところ、抽せんで選ばせていただいた700名の方に、その花火を御覧いただきました。当日は、単なる花火の打ち上げではなくて、水戸市が誇ります野村花火工業のPR、それから偕楽園花火大会、黄門まつりのPRを兼ねまして、全国から集まっていた皆様にはPRをさせていただきました。現在、ユーチューブ動画で配信をしております、非常に反響が大きいということで好評をいただいております。そのツイート数とかは、現在、調べ中でございますので、そういった実績も踏まえまして様々な場面で、今後も水戸の黄門まつり、偕楽園花火大会、野村花火工業、水戸市が誇る一大イベントとしてのコマーシャルを、いろんな場面で続けてまいりたいと考えております。よろしく申し上げます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 ありがとうございます。

水戸市からのコラボとして提供したものになると思うんですけども、その花火の部分の話でいうと、予

算がどの程度だったのかと、あとは、恐らく当初予算の花火支援というところの、3,000万円でしたっけ、5,000万円でしたっけ、その予算の原資についてちょっとお伺いをしたいと思います。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 御質問にお答えをいたします。

今回の花火につきましては、水戸の黄門まつりが中止になってしまったということで、委員の皆様にもお知らせしましたとおり、代替事業としまして様々な場面で花火のほうを分割して上げていくという予定でございました。その第1弾が今回の花火でございます。

水戸の黄門まつりで用意して御承認いただいております予算としましては、花火大会で1,900万円を見込んでおります。そのうち今回の花火の全ての経費として約500万円かかっておりまして、残りの1,400万円につきましては、まだ検討途中でございますが、例を挙げて申しますと、例えば梅まつりの時期に黄門まつりのコマーシャルを兼ねて、歓迎の意を込めた花火の打ち上げを分散して行うなど、今、検討を進めているところでございます。よろしく申し上げます。

○飯田委員長 小泉委員。

○小泉委員 詳細のほうもありがとうございました。

黄門まつりで用意してあった予算のほうも、振替といいますか、こういった形で使っているということで、やっぱり先ほど課長のほうから答弁がありましたけれども、予算をかけてやっているわけなので、きちんとそれに対しての費用対効果の検証ですとか、そういったものを積み上げ、プラス実績というのは、やっぱり客観的な視点も必要なんだと思います。後には決算も控えていますので、花火関係に関してもこれからも多分幾つか続くんだと思いますので、そういったところもしっかりと検証して臨んでいただきたいというふうに思います。大いに期待をしていきたいというふうに思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 今の水戸市の商業、工業もコロナで、かなり、まちの中を歩いて、廃業しちゃっているところとかも見受けられるんですけども、全体的には4割ぐらいとか聞いてもいるんですが、このコロナで廃業したり、倒産したりということで。特に今、飲食業とか厳しいところがあると認識しているんですけども、その辺の実態というのは把握されているのかどうか。

○飯田委員長 長谷川商工課長。

○長谷川産業経済部参事兼商工課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

コロナの影響で、8月から9月にかけて緊急事態宣言も発出されたという状況で、現在、事業継続特別対策支援金の申請受付のほうを行っております。そういった窓口等に来られる方の事業者さんからも、やはり相当厳しかったということで、そういった支援金を頂けて大変有り難いという声もいただいております。ただ、まだ飲食店さんのほうは客足がなかなか戻ってこないというような声も伺っております。やはり経営としては厳しい状況にあるというふうに認識してございます。

冒頭言われました、廃業している数なんですけれども、申し訳ございませんが、正確に何件廃業したか、

もしくは閉店したかというところの把握はできていません。

以上でございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 今後、できればそういうのをしっかり把握していただきたいと思いますし、支援金を頂けるのが、特に売上げが50%以上ということではなかなか、前にもちょっとお話ししたように、毎月、1割でも2割でも3割でも減っている月がずっと続いてしまうと、非常に大きな打撃になって、かなり厳しい状況になりつつあります。今後、このコロナが収まってきましたので落ち着いてくるかとは思いますが、そこまで耐えられないところもありますし、そういう皆さんの切実な声を何らかの形で拾っていただいて、その部分に対しての手当てというのをしていただけるような検討をお願いできたらと思いますので、引き続きちょっとその辺の調査をよろしくお願ひしたいと思います。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 ちょっと関連で、安藏委員の話に関連しているんですけども、昨今、コロナの感染が非常に少なく、水戸市の場合なんですけれども1人とかゼロ人とかが続いているという中で、全国的に見てもコロナの感染者が少なくなっている、減少しているといういい傾向にあって、ほかの海外では、例えばドイツ、イギリスはまた感染者が増えているという話も聞いております。やはり日本人の培ってきた考え方というのが、皆さん、まだまだマスクをしているということで、やはりそういうことがいい影響を与えているのかなというふうに思っております。

それで、この感染が少なくなった水戸市の中で、今、例えば商売の方とか飲食店の方に対する規制とか、そういうものは全部撤廃されているということで理解してよろしいですか。

○飯田委員長 長谷川商工課長。

○長谷川産業経済部参事兼商工課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

基本的には、茨城県のほうのガイドラインに沿ってという形になりますけれども、9月の緊急事態宣言のときのような規制はなく、ただ、やはり大人数での飲食店での会食とか、そういったことには注意しながら、当然、マスクをしながらの会食とか、そういったところで呼びかけというか、注意喚起のほうは続いているというのが現状でございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 先ほどちょっと日本人の話をさせてもらいましたが、一応、自主規制と、いわゆるお店、単独店ごとに自分たちが取り入れられるようなコロナ対策をしながら、営業の時間を延長したり、また通常に戻ってきたと、そういう考え方でよろしいですね。やはり、今後、このコロナがどのような形で推移していくかというのは、誰も先が読めない中で、委縮した経済活動でも困ってしまうという中で、安藏委員も指摘していましたが、あまり恐れ過ぎずに、やっぱりしっかりした経済活動に対して支援をしていくということが、私は求められているのかなと思っております。

例えばそういうイベントにしても、またお店にしても、積極的な活動ができておりますので、やはり基本ベース、コロナ感染対策をしながら、しっかりそういう活力のあるような事業に取り組んでいくということ

が大事なのかなと思っています。

それで、ちょっと話が外れるんですけども、新市民会館が来年10月にできて、次の年の7月から供用開始になります。できてから誘致をするようなコンベンション機能では遅いと思うんですけども、コンベンションを担当しているという職員さんがいらっしゃいますよね。それはどこにいらっしゃるんですか。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの渡辺委員のコンベンション機能の部分に関する御質問でございますけれども、当然、水戸市全庁的にも様々な会議等、呼びかけといいますか、周知は取り組んでいるところでございますが、観光コンベンション協会にコンベンション係という専門の部署を置きまして、東京、各業界のほうに営業をかけるなど、コンベンション活動を推進しております。そういった中で、新市民会館の建設を契機に、現在、様々な業界はじめ、いろんな全国大会、関東大会などの誘致を進めているところでございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ありがとうございます。

新市民会館ができてから動き始めるのでは遅いんで、ましてや今、コロナで全国的にどこでもやっぱり足踏み状態なものがたくさんあります。そういう文化施設等においても、やはり先んずることが、私は誘致の大事な条件かなと。新しく完成するわけですから、今のうちからそういう会議とか、また集会とか、高いアンテナを張りながら、どんどん誘致していただきたい。今、新市民会館、もう前予約というのをやっているわけですよ。前予約の中でも、結構何か問合せがたくさんあるという話を聞いておりますので、ほかの文化施設でも規制のできているところなんかは、恐れてコロナのためにどんどんスタートが遅れていくわけですから、やはり先んずることが大事なことかなと思いますので、ぜひ、この観光コンベンション協会のほうと連携を取りながら、高いアンテナとパイプを利用して、ぜひ、新市民会館のオープンにあわせてしっかりした計画などを立てていただければということをお願いしておきます。

どうぞ、何か、話して。

○飯田委員長 小林観光課長。

○小林観光課長 ただいまの御指摘、御意見に対しまして、お答えをいたします。

渡辺委員のおっしゃるとおり、御意見にありましたとおり、今の段階から進めていくということが大変重要だと考えておりまして、新市民会館とも都度協議を進めております。誘致を図っていきたい団体さんを直接お連れして、新市民会館等とも三者で協議を進めたりということで具体的に動いているところでございますので、引き続き積極的に継続してまいりたいと考えております。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時52分 散会